

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	オスガ谷（おすがたに） （福井県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>オスガ谷地区は、福井県敦賀市山の黒河川上流に位置する黒河山国有林内に位置している。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮に関する地域の要請や関心が高く、訪れる人も多いことから早急な対策が望まれている地区である。</p> <p>当地区は、平成22年7月に発生した梅雨前線に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、溪床には大量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、これらの要請に応えながら、山腹崩壊の拡大による不安定土砂の移動を抑止し、林道や下流域の保全並びに水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.25ha（1箇所） 溪間工 1基</p> <p>・主な保全対象：人家、林道、畑</p> <p>・総事業費： 42,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	53,931（千円）	
	総費用(C)	40,385（千円）	
	分析結果(B/C)	1.34	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊を放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ、森林は安定化し水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年～平成27年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	妙婦谷(みょうぶだに) (三重県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署
事業の概要・目的	<p>妙婦谷地区は、三重県紀北町中部の妙婦谷国有林に位置している。当地区は、平成16年発生 of 台風21号に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、溪床にはその際発生した不安定土砂が堆積している状況にある。自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮に関する地域の要請が高いことから、早急な対策が望まれているところである。このため、山腹崩壊地の拡大と溪間工による不安定土砂の移動を抑止し、林道や下流域の県道等の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るため事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.96ha (2箇所) 溪間工 2 基</p> <p>・主な保全対象：県道</p> <p>・総事業費：240,000(千円)</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	269,958(千円)	
	総費用(C)	213,017(千円)	
	分析結果(B/C)	1.27	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地及び溪床には大量の不安定土砂が堆積している状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、荒廃地の拡大と堆積土砂の流出が懸念され、下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがあることから地域要請も強く、当事業の実施による水土保持機能の発揮の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ、森林は安定化し水土保持機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	伊崎（いさき） （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>伊崎地区は滋賀県近江八幡市白王町、伊崎国有林に位置している。 当地区は、平成22年7月の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、崩落土砂が近畿圏の水ガメである琵琶湖に流出するなど水質汚濁の原因となっている。 直上には、観光名所となっている伊崎寺へ通じる参道が所在し、地元からは早急に復旧するよう要望があること及び、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であり、早急な対策が必要である。 このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復及び、琵琶湖への土砂流出防止を図るため事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：山腹工 0.03ha（1箇所）</li> <li>・主な保全対象：人家、寺院、市道、琵琶湖</li> <li>・総事業費： 3,000(千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	<p>総便益(B) 4,907(千円)</p> <p>総費用(C) 2,885(千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.70</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹斜面に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、荒廃の拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域への保全等、当事業の実施が必要である。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、森林は安定化し水土保持機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	共生保安林整備	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	銀閣寺（ぎんかくじ） （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>銀閣寺地区は、京都府京都市左京区浄土寺大山町、銀閣寺国有林に位置している。世界文化遺産「銀閣寺」の背後にあたり、京都の夏の風物詩「五山の送り火」で有名な大文字山の火床に隣接している。</p> <p>当国有林内には、火床に通じるハイキングコースがあり日常的に入山される方は非常に多い。</p> <p>平成13年には、防火用治山施設（地下貯水槽）が配置され、万一に備えた防災機能の高い国有林となっている。</p> <p>しかし、近年のゲリラ豪雨によって表層滑落型の山腹崩壊が発生し、保安林の管理に支障をきたしている。これに加え、保全対象の銀閣寺内に汚濁水が流入するなどし、早期の事業実施の要請がある。</p> <p>このため、崩壊地の拡大防止と土砂の流出を防止することを目的に当事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.06ha（2箇所）</p> <p>・主な保全対象：人家、神社</p> <p>・総事業費：3,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	13,868（千円）	
	総費用(C)	2,885（千円）	
	分析結果(B/C)	4.81	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、崩壊地の拡大によって下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、森林は安定化し水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	書写山（しよしゃざん） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、姫路市北部に位置し、地質の大半が火成岩地帯である。山腹崩壊危険地区及び兵庫県の土石流危険渓流区域に指定されている。渓流には大量の不安定土砂が堆積し、渓床は縦浸食していることから、今後の異状気象等によって拡大荒廃し、保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>平成22年6月の集中豪雨により下流域にある兵庫県立大学内の水路に不安定土砂が流入・堆積し、被害をもたらした。</p> <p>このため、下流域の兵庫県立大学をはじめ、人家・県道等の保全を図ることを目的に当事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容： 溪間工 1基</p> <p>・主な保全対象： 人家、学校、県・市道</p> <p>・総事業費： 8,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	8,792（千円）	
	総費用(C)	7,692（千円）	
	分析結果(B/C)	1.14	
評価結果	<p>・必要性： 渓床には不安定土砂が堆積し、放置すれば今後の集中豪雨等により下流域への土砂流出が懸念され、保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがあること及び、土砂流出防備保安林としての保全機能の発揮のため、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、荒廃渓流の復旧が図られ、水土保持機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	共生保安林整備	事業計画期間	平成23年～平成25年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	荒神川・足洗川 （こうじんがわ・あしあらいがわ） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、明治44年から土砂流出防備保安林・保健保安林に指定されており、北中山国有林は宝塚自然休養林、遊々の森にも指定されている。</p> <p>山裾には中山寺、清荒神の名勝地が存在し、ここから自然休養林内に向かう遊歩道がある。エリア内には中山寺奥の院や聖徳太子修業跡の天空塚等の史跡、夫婦岩、安らぎ広場等があることから年間を通して多くのハイカーが訪れており、市民に親しまれている国有林である。</p> <p>国有林下流域では、住宅開発が進み土砂災害の発生が懸念される状況であることから、過去から治山施設により土砂流出災害の発生を抑止してきている。</p> <p>平成21年度にエリア内の調査を実施したところ、新たに荒廃地が発生していることから、溪間工の施工により不安定土砂の流出防止を図るとともに都市近郊林のため、山火事消火の防火貯水ダムの設置、森林整備による森林の多目的機能の向上、保安林管理道・歩道の整備等を実施し、地域の生活環境の保全・形成を図るものである。</p> <p>・主な事業内容：防火貯水ダム 1基、溪間工 4基 森林整備 46ha</p> <p>・主な保全対象：人家、学校、寺院、県・市道、鉄道</p> <p>・総事業費：77,000（千円）</p>		
費用対効果分析	<p>総便益(B) 177,440（千円）</p> <p>総費用(C) 71,522（千円）</p> <p>分析結果(B/C) 2.48</p>		
評価結果	<p>・必要性：新たな荒廃地からの不安定土砂が堆積し、放置すれば今後の集中豪雨等により下流域への土砂流出が懸念され、保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがあること、及び都市近郊林のため、山火事消火の防火貯水ダム等を実施することにより、土砂流出・保健保安林としての保全機能の発揮及び生活環境の保全・形成の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、森林及び溪流の安定化が図られ、貯水ダムにより、地域の保全・形成が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備	事業計画期間	平成23度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	北龍野(きたたつの) （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、兵庫県たつの市龍野町、鶏籠山国有林に位置し、下流域には人家、神社を始め、西播丘陵県立自然公園等の保全対象が所在する。</p> <p>事業対象地はこれらの保全対象に隣接しており、アラカシ・コジイ・カゴノキ等の常緑広葉樹が主体の天然広葉樹林であるが樹幹の鬱閉による日照条件が劣ると鹿の食害により下層植生が減退または消滅し、集中豪雨等により表土が流出し樹木の根茎が露出している状態にあり、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、本数調整伐の実施により、林内下層植生の回復と獣害防護柵の設置により食害を防止し、保安林機能の早期回復を図ることとしたい。</p> <p>・主な事業内容：本数調整伐 3.00ha 獣害防護柵 500 m</p> <p>・主な保全対象：人家、神社、用水路、県・市道</p> <p>・総事業費： 10,500（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	86,257（千円）	
	総費用(C)	10,096（千円）	
	分析結果(B/C)	8.54	
評価結果	<p>・必要性：当地区の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により林地荒廃が発生する恐れが非常に高く、保安林機能の低下が懸念される。 水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、事業実行により水土保全機能の充実が図られ、下流域等への被害防止効果について効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	高野山212(こうやさん) （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>高野山地区は、和歌山県伊都郡高野町の紀ノ川上流に位置する高野山国有林内の地区を対象としている。 平成18年の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、山腹斜面は現在も不安定な状況が続いている。 当地区は下流域の重要な水源地域となっているが、現在でも山腹崩壊箇所の表面浸食が継続しており、今後の降雨等により下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。 また、高野山へは年間約146万人が訪れているが、崩壊地直上に世界遺産の町石道(参道・遊歩道)が存在することから、地元からは早期復旧の要望(口頭)が出されている。 このため、山腹工を施工することにより、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るとともに、施設等の保全を図るものである。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.16 ha（1箇所）</p> <p>・主な保全対象：人家、県道</p> <p>・総事業費：20,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	28,426（千円）	
	総費用(C)	19,231（千円）	
	分析結果(B/C)	1.48	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、崩壊地の拡大によって下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域への保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、森林は安定化し水土保持機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	下津股谷川 （しもつまたたにかわ） （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>下津股谷川地区は、和歌山県有田郡有田町の有田川上流に位置する津俣国有林内の地区を対象としており、下流域の重要な水源地域となっている。 平成16年7月の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、山腹崩壊箇所は表面浸食が継続している。また、溪岸浸食が著しく、今後の降雨等により下流域へ甚大な被害を及ぼす恐れがある。 このため、山腹工により土砂流出の抑止と山脚の固定を行い、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.04 ha（1箇所）</p> <p>・主な保全対象：人家、寺院、林道</p> <p>・総事業費：10,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	38,544（千円）	
	総費用(C)	9,615（千円）	
	分析結果(B/C)	4.01	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、崩壊地の拡大によって下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、森林は安定化し水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。・必要性：</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度～平成32年度(10年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	三の沢(さんのさわ) (鳥取県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、大山の土砂発生源のひとつである大山南壁といわれる大規模崩壊地である。大山が解体期の山であること、冬の季節風にさらされる独立峰であることと相まって、生産される土量は膨大な量である。気象は、日本海側気候であるため、冬季と梅雨期に多く、積雪量は山間部では1m前後、スキー場のある付近では2mを超え、山頂では氷点下10℃を下回るなど厳しい気象環境である。地質は、酸性度、粘性ともに強い溶岩からなり母岩はもろく、凍結、融解作用等により亀裂が生じやすいため風化、雨滴に対し極めて脆弱であることに加え急斜面であるため、頻繁に崩落を繰り返し植生の侵入が出来ない状態である。また、土砂の流送地帯には安山岩質の火砕物が不安定土砂となって大量に堆積し、豪雨のたび土石流となって直下の県道を越えて流下するため地元の生活、観光道として重要な路線にもかかわらず頻繁に通行止めを余儀なくされており、地元自治体等から事業の実施を強く求められている。このため、荒廃地の直接的な復旧は困難であるため、溪間工により不安定土砂の移動を調整し溪床を安定させ、樹林帯の保護、育成並びに下流域を保全し、保安林機能の増進を図ることを目的に事業を実施することとした。</p> <p>なお、大山は山地帯の原生的なブナの天然林から、亜高山帯に属する山頂部のダイセンキヤロボク(特別天然記念物)純林まで、垂直的な植物群落が見られ貴重な森林が残っていることから、豊かな自然環境を維持するため大山森林生態系保護地域として指定されており、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業、管理技術の発展、学術研究等に資することとしており、大山隠岐国立公園に指定(昭和11年)されていることから、観光としても年間を通し多くの行楽客が利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：溪間工 25 基</li> <li>・主な保全対象：人家、県道、田畑</li> <li>・総事業費： 267,900 (千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	<p>総 便 益(B) 332,347 (千円)</p> <p>総 費 用(C) 228,840 (千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.45</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：溪床には火砕物が不安定土砂となって大量に堆積し、豪雨の都度、土石流となり下流に被害を与えている。このまま放置すれば今後の集中豪雨等により下流域への土砂流出が懸念され、保全対象に大きな被害を及ぼす恐れがあることから地元自治体等からの要請も強く、当事業の実施による水土保全機能の発揮の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、荒廃溪流の復旧が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	水源地域整備	事業計画期間	平成23年～平成26年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	井谷奥外 （いたにおくほか） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、島根県雲南市大東町の東部に所在し、斐伊川支流の久野川の上流に位置する三郡山、井谷奥及び日登国有林に位置している。地質は殆どが風化しやすい花崗岩で占められ、地形的に起伏量の大きい山岳地形を形成している。</p> <p>当地区は平成18年7月に発生した梅雨前線に伴う集中豪雨により、溪岸崩壊が発生し、不安定土砂が溪流に堆積しており、直下には人家及び県道がある。</p> <p>このため、当地区は民有林と国有林が一体となって連携し事業を行い、溪間工により、不安定土砂の流出による被害から下流域の保全を図る。</p> <p>また、森林の過密化により下層植生が衰退し土砂流出の危険性が高くなり、水源かん養機能の低下が懸念されることから、本数調整伐の実施により、保安林機能の高度発揮や、水源地域の機能強化を促進し、下流域の保全を図ることとしたい。</p> <p>主な事業内容： 溪間工 1基 本数調整伐 117.00ha</p> <p>主な保全対象： 人家、学校、鉄道、県道、農道</p> <p>総事業費： 44,600（千円）</p>		
費用対効果分析	<p>総便益（B） 406,202（千円）</p> <p>総費用（C） 40,956（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 9.92</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 当地区の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により林地荒廃が発生する恐れが非常に高く、保安林機能の低下が懸念される。 水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、事業実行により水土保全機能の充実が図られ、下流域等への被害防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	アセン坊（あせんぼう） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>アセン坊地区は、岡山県美作市右手、吉井川流域の支流梶並川、立木津谷国有林に位置している。</p> <p>当地区は、平成21年8月の台風9号の影響による集中豪雨により林地崩壊が発生し、谷川斜面の立木及び土砂が滑落し溪流に流出した。現在も溪床に土砂・倒木等が大量に堆積しており、今後の降雨等により下流域被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>また、下流の右手地区の重要な水源地域であることから、水源のかん養等公益的機能の発揮に関する要望が高い。</p> <p>このため、山腹工と溪間工により不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るため事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容：溪間工 1基、山腹工 0.18ha（1箇所）</p> <p>・主な保全対象：人家、養魚場、田畑、市・町・林道</p> <p>・総事業費：31,000（千円）</p>		
費用対効果分析	<p>総便益(B) 57,034（千円）</p> <p>総費用(C) 29,808（千円）</p> <p>分析結果(B/C) 1.91</p>		
評価結果	<p>・必要性：溪床には大量の不安定土砂・倒木が堆積し、放置すれば、今後の集中豪雨等により下流への土砂流出が懸念され、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼすおそれがあること、地元要望があることから、当事業の実施により下流域に対する水土保持機能の発揮の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ、水土保持機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	地域防災対策総合治山	事業計画期間	平成23年度～平成25年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	はつたんやま・さかた・みようけんさん こん 八反山・坂田・妙見山・コン びらやま・かみやま ピラ山・上山 (岡山県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、岡山県瀬戸市内の東部、瀬戸内海沿いの黒井山・八反山国有林に位置している。</p> <p>平成21年5月に林野火災被害が発生し、山火事跡中腹部には露岩部及び浮いた転石等が見られる。この山火事により、立木が焼失したため、露岩及び転石が崩落した場合、保全対象である市道並びに民家に被害を及ぼす恐れがあることから、早急に整備する必要がある。</p> <p>今後における山火事再発防止のために防火帯を兼ねた管理歩道等の整備並びに発生源となる枯損木の処理が必要である。</p> <p>また、国有林下流には農業用ため池が多数存在しており、防火用貯水池の用途を兼ねた役割も期待できる。</p> <p>このため、地元からは防火管理の整備及び国有林からため池への土砂流入を防止する土砂災害防止対策の早期の事業実施の要請がある。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全並びに水土保全機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容： 溪間工 3基 、 山腹工 1箇所</p> <p>・主な保全対象： 人家、田畑、ため池、市・町道</p> <p>・総事業費： 36,000 (千円)</p>		
費用対効果分析	<p>総便益(B) 274,223 (千円)</p> <p>総費用(C) 33,411 (千円)</p> <p>分析結果(B/C) 8.21</p>		
評価結果	<p>・必要性： 山火事跡中腹部には露岩部及び浮いた転石等が見られ、放置すれば、今後の集中豪雨等により道路等への落石及び下流への土砂流出が懸念され、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼすおそれがあること、地元要望があることから、当事業の実施による水源かん養・国土保全機能の発揮の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃溪流の復旧が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年～平成25年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	温井上流（ぬくいじょうりゅう） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、広島県山県郡安芸太田町の太田川上流、一本松山国有林内に位置しており、平成22年7月の梅雨前線の発達に伴う集中豪雨により発生した山腹崩壊地及び荒廃渓流を復旧するものである。</p> <p>山腹崩壊地や渓床内には大量の立木混じりの土砂が堆積しており、降雨の都度、土砂の流出が続き、今後も集中豪雨等による崩壊の拡大が危惧され、下流域の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、山腹工・渓間工を実施することにより、崩壊地の拡大防止及び発生源からの土砂流出抑止と渓床に堆積している土砂の流出防止をはかり、下流域の保全と保安林機能の増進を図ることを目的に当事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.1ha（1箇所） 渓間工 2基</p> <p>・主な保全対象：人家、水道施設、国道、林道</p> <p>・総事業費：50,000(千円)</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	218,891(千円)	
	総費用(C)	47,337(千円)	
	分析結果(B/C)	4.62	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地や渓床に大量の不安定土砂が堆積し、放置すれば、今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大及び下流への土砂流出が懸念され、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼすおそれがあることから、当事業の実施により下流域に対する水土保全機能の発揮の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地・荒廃渓流の復旧が図られ、森林は安定化し水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	滑川（なめらがわ） （山口県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>滑川地区は、山口県山口市の北部、佐波川上流の滑山国有林に位置している。当地区は、平成21年7月の梅雨前線の発達に伴う集中豪雨より発生した山腹崩壊地であり、現在も不安定土砂が堆積する状況にあつて、降雨の都度、表面浸食が続き、今後も集中豪雨等により崩壊の拡大が危惧され、下流域の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>当地区は下流域の簡易水道の水源となっており、地元からは早急に復旧するよう要望がある。</p> <p>このため、山腹崩壊地の復旧により、下流域の保全並びに保安林機能の増進を図ることを目的に当事業を実施する。</p> <p>・主な事業内容：山腹工 0.01ha（1箇所）</p> <p>・主な保全対象：人家、県・市道、田畑</p> <p>・総事業費：4,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	9,611（千円）	
	総費用(C)	3,846（千円）	
	分析結果(B/C)	2.50	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により下流への土砂流出が懸念され、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼす恐れが高い。水土保全機能の発揮による下流域への保全等、当事業の実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、森林は安定化し水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性は認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備	事業計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	那智川東（なちかわひがし） （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、和歌山県東牟婁郡那智勝浦町、那智山国有林に位置し、下流域には人家及び神社仏閣を始め、観光名所等の保全対象が多く所在する。 事業対象地はこれらの保全対象に隣接しており、スギ・ヒノキが主体の人工林であるが、林木の成長に伴い樹幹の鬱閉による日照条件が劣ることにより、下層植生が減退または消滅し表土が流出し樹木の根茎が露出している状態にあり、早急な対策が必要である。 このため、本数調整伐の実施により、林内下層植生の回復を促し保安林機能の早期回復を図ることとしたい。</p> <p>・主な事業内容：本数調整伐 21.94 ha</p> <p>・主な保全対象：人家、神社、寺、発電所、県道</p> <p>・総事業費：19,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	80,186（千円）	
	総費用(C)	18,269（千円）	
	分析結果(B/C)	4.39	
評価結果	<p>・必要性：当地区の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、林地荒廃が発生する恐れが非常に高く、保安林機能の低下が懸念される。 水土保全機能の発揮による下流域への保全等、当事業実施の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から効率性が認められる。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、保安林機能の強化が図られ、水土保全機能の発揮が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		